

タイトル…『汐製菓会社の新作のポテ
チ3』

登場人物

- ・ 汐（しお）（30代男性）…汐製菓会社
社長。奇抜で面白いアイデアを発案す
るのが得意で、会社のモットーは「面白
きことも無き世を面白く」。楽観的で
陽気な性格。
- ・ 塩田（しおだ）（30代女性）…汐の秘
書。真面目で心配性な性格。汐の突飛
なアイデアに振り回されるが、実は隠れ
たお菓子好きで、密かに新商品に期待
している部分もある。

シーン…汐製菓会社オフィス | 汐のデ
スク

（汐がデスクに座り、資料を見ながら深く考え込んでいる。塩田が書類を持って入ってくる）

塩田…「社長、これが今月の売上報告書です。それから…次の商品開発に関してですが、やはり慎重に…」

汐…（突然顔を上げて）「塩田くん！僕は最高のアイデアを思いついたよ！」

塩田…（少し不安そうに）「またですか…一応聞きますけど、今回は何を思いついたんですか？」

汐…「ポテトチップスだ！でも普通じゃない。ブラックコーヒーのように苦くてリッチな味のポテトチップスだ！」

塩田…（驚きの表情で）「えっ？ポテチに苦味ですか？しかもブラックコーヒーの味…！」

汐：「そうだよ！この斬新さ、そして大人向けのリッチな味わいが、今までにないインパクトを与えるんだ。お菓子業界に革命を起こす！」

塩田：（ため息をつきながら）「いや、そんな味のポテチが本当に売れるとは思えないんですけど…」

汐：「大丈夫さ！みんな新しいものを求めているんだ。これで僕たちの会社は一気に話題になるぞ！」

塩田：（諦めたように）「わかりました…じゃあ、試作品を作ってみますか。でも、試食は…」

汐：（ニヤリと笑って）「僕が一番に試すよ。社長として当然さ！」

シーン② 汐製菓会社 | 試作室

（試作室で、スタッフが苦味成分の調合に四苦八苦している。汐と塩田が見守る）

スタッフA：「社長、これが最初の試作品です。…ですが、味がどうにも…」

汐：（興奮気味に）「さあ、どれどれ！」（一口食べてみる）

汐：（一瞬で顔が引きつり）「うっ…これは…なかなかパンチが効いてるね…」

塩田：（心配そうに）「社長、大丈夫ですか？やっぱり無理があったんじゃない？」

汐：（無理やり笑顔を作り）「いや、これはこれで面白い！少し味を調整して、もう少しリッチさを加えよう！」

スタッフA：「リッチさを…どのように…？」

汐：「そうだな：バターをたっぷり使って、さらにカカオパウダーを少し混ぜてみたらどうかな？」

塩田：「社長、それ、ますます苦くなりませんか？」

汐：「大丈夫だよ、塩田くん！この苦味が新しい流行を生むんだ！」

シーン③ 試作室 ー 1週間後

（新しい試作作品が完成し、汐と塩田、そして数名のスタッフが試食を行う）

スタッフA：「社長、こちらが最終試作作品です。リッチで苦味が効いています：多分。」

汐：（自信満々で）「よし、みんな一緒に食べてみよう！」

（全員が一口食べる）

塩田…（顔をしかめながら）「これは…すごい味です…ね…」

スタッフA…「うん…リッチだけど、コーヒー感が強すぎて…」

スタッフB…「でも、後味がなんとも言えない深みがありますね。」

汐…（満足そうに）「そうだろう？これが僕たちの新しいポテチ、『ブラックポテチ』だ！」

塩田…「ええ、確かに今までにない味ではありますが…」

汐…「さあ、この商品を市場に投入してみよう！きっと反響があるぞ！」

シーン④ 数週間後 | 汐製菓会社オフィス

(汐と塩田がデスクに座っている。電話が鳴り、塩田が応対する)

塩田：「はい、汐製菓会社です…ええ、ブラックポテチについてですね…う、売り上げがどうかって？…ええ…わかりました。」(電話を切る)

汐：「どうだった？」

塩田：(言葉を選びながら)「売り上げは…まあ、その…一部のマニアには受けているようです…が、大半の人たちには少し…強すぎたようです。」

汐：(少し沈黙して)「そうか…でもいいんだ！僕たちは新しいことに挑戦した。それが一番大事なんだ！」

塩田：(微笑みながら)「そうですね。挑戦し続けることが、汐製菓の本質ですから。」

汐：「次はもつと大ヒットする商品を考えよう！さあ、新しいアイデアがすでに浮かんでるんだ！」

塩田：（驚きながらも苦笑）「またですか…
今度は、もう少し控えめなものにしましょうね。」

汐：（笑顔で）「面白きことも無き世を面白く！次も期待しててね、塩田くん！」

シーン5：エピソードー汐製菓会社の新たな挑戦

（数ヶ月後、新たなポテチの企画会議が行われている）

汐：「次は、チョコレート風味のポテチを作ろう！甘さと塩気の絶妙なバランスだ！」

塩田…（ため息混じりに）「また変わったアイ
デアですね…でも、今度は少し期待してま
す。」

（スタッフたちも笑いながら、次なる試作品作
りに取りかかる）

おわり